



2023年11月10日

各 位

会 社 名 ASAHI EITO ホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社 星 野 和 也  
代 表 者 名 長 グループ CEO  
(コード 5341 東証スタンダード市場)  
問合せ先 法務IR担当兼社長室室長 生 島 始 郎  
T E L (06)7777-2067

## 新たな製造事業所開設のための産業用地に関するお知らせ（開示事項の中止）

2023年4月11日にお知らせいたしました、中期経営計画に基づく事業多様化戦略の一環として新たな製造及び物流、研究のための拠点の開設について、福島県大熊町(以下、大熊町)より大熊町産業用地貸付決定通知書を2023年3月15日に受領し、当該産業用地を事業用地として利用していくことを準備、検討して参りましたが、昨今の当社を取り巻く事業環境、2023年6月にホールディングス化して以降の事業状況を鑑み、一旦当該計画につき、再検討することといたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 再検討の理由として

「新たな製造事業所開設のための産業用地に関するお知らせ」にてお知らせしました、福島県双葉郡大熊町大字下野上字原 大熊中央産業拠点の17,051 m<sup>2</sup>に、住宅設備機器の開発、製造、在庫、出荷の拠点、共同開発・研究拠点、EVスタンド等を設置した実用化実験場等を建設し、地域の復興への寄与、東日本における当社拠点の開設を想定しておりましたが、資材の高騰など、当該事業計画自体の予算規模の見直しが必要の状況にあり、また当社グループの主たる事業である衛陶事業を担当する子会社、アサヒ衛陶株式会社の業績、円安による影響、資材などを含む販売原価の高騰などにより、アサヒ衛陶株式会社の業容が当初の予想を超えて低迷しており、資金計画を含め大きな見直しを行う必要性が生じたために、当該計画を一旦再検討することと致しました。

#### 2. 再検討の内容として

まずは、計画の内容そのものの見直しを行うこととし、事業内容、規模を再検討し、それに対する資金計画も新たに策定することとなります。前述、建設予算の高騰、衛陶事業の不振により、資金計画等に乖離が生じているため、現時点において、当初予定しておりました2024年3月着工、2025年3月操業開始が相当程度遅れる確度が高いと判断しております。つきましては再検討に係る手続きの一環として大熊町に対して2023年3月15日に受領した大熊町産業用地貸付決定通知書によって提供された当該産業用地の利用に関しまして、本日開催の当社取締役会の決議を経て、一度辞退届を提出致します。その後に当社にて再検討して策定し、大熊町より理解を得られた事業計画に基づき、改めて対象用地の申請を行う段取りとなります。また、市場環境及び状況の改善が進まない

場合には当該計画の中止という選択の可能性も生じることも考えられます。

### 3. 当社事業収益への影響について

本件による当社連結業績の収益への影響につきましては、現在精査しております。今後、開示すべき影響及び事項等が判明、発生した場合には速やかに開示し、お知らせいたします。

### 4. 今後の見通し

本件につきましては、出来るだけ早急に再検討を進めて、その結果をお知らせさせていただきます。本件に関連して、当社グループ全体の中期経営計画も合わせて再検討を進めていくこととなりますので、再検討した中期経営計画も策定が完了次第、お知らせさせていただきます。

以上